

輝く 田底っ子

第46号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

スペシャルゲスト 来て来て先輩 「福田 浩一 様」 講話

～よりよい生き方について学ぶ～

12月10日（金）2～3校時に感性をみがく教育の推進「スペシャルゲスト 来て来て先輩」という企画で、元株式会社テレビ熊本アナウンサーの「福田浩一」様（通称サンキューおじさん）に来ていただき、4・5・6年生児童を対象に話をさせていただきました。

「はい」という言葉は、言い方によって「納得」「不満」「聞き直す」などの色々な情報が発信できるということから始まりました。まず、4年生国語教材「こわれた千の楽器」の朗読のお手本を示され、子どもたちは2回目の音読ではグンと朗読が上手になっていました。

次に、J3第29節「テゲバジャー宮崎 VS ロアッソ熊本」の試合を福田様が実況放送をされている映像を見ました。本当はロアッソ熊本の勝ちをこよなく願っておられる福田様ですが、宮崎県民の立場からのアドリブをきかせた実況をされる技にはびっくりしました。さすがプロと思いました。

そして最後には、福田様の体験談を通した話がありました。本当は声優さんになりたかったが、色々な人や学びのつながりで今があるという話をされました。「一番大事なものは、お金では買えない」「天地万象、皆我が師」等の言葉から、夢や目標に向かって今すべきことや努力することの大切さを学びました。

子どもたちは、全員真剣に話を聞き、意見を求められる場面では積極的に意見発表をしていました。最後には富田千遥さんが立派にお礼の言葉を言ってくれました。



おわび

前回の45号で「6年生のお化け屋敷」を紹介しました。しかしまだ5年生が体験をしていなかったため、脅かす内容が少しわかってしまったのではないかと思います。6年生と5年生には大変申し訳ありませんでした。今後気をつけます。